無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業（健全な製品エコシステム構築・ルール形成促進事業）

【事業名】蓄電池のカーボンフットプリント試行事業

事業者名：株式会社エンビジョンAESCジャパン

実施期間：令和４年８月～令和５年２月

１．事業の背景・目的

地球温暖化などの環境問題への対応としてCO_2削減に向けた取り組みは世界規模での緊急課題であり、カーボンフットプリント算定によるCO_2の「見える化」が低炭素社会の実現を目指す助けになる。
本補助事業を通じて、サプライチェーン全体で連携・協業し、カーボンフットプリント算定を試行し、算定ルール（手法）の具体化やその実現に向け課題の抽出を行う。
また課題に対する対応の方向性を検討し、業界横断的な課題解決とカーボンニュートラル実現に向けた、CO_2排出量削減の促進に向け取り組む事を目的とする。

２．補助事業の概要

以下3点の実施によりCFP算定結果の明示、課題の洗い出し、及びサプライチェーンで課題の共有と対策の方向性を検討した。

①CFP算定結果の明示/検証
CFPの算定に必要な社内LCA導入チームの体制構築とデータ抽出を的確に行い、CFP算定結果を明らかにした。
算定における課題を挙げ、その対応の方向性について社内で検討した。（図1-4）

②サプライチェーンにおける課題の明示
サプライチェーンで連携し、CFP算定するために部材データ抽出機能に関する課題や、算定ルール追及に関する課題を明らかにした。
（8件）

③サプライチェーンにおける課題の共有と対応の方向性の検討
CFP算定のため、課題を全サプライチェーンで共有し、課題に対する対応の方向性を検討し課題解消に向けた活動に繋げるよう、社内で振り返りの実施、及び提案を纏めた。（13件）

図1:実証実験イメージ

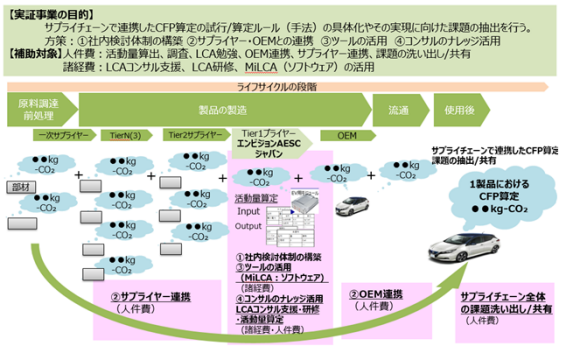

図２:社内体制図

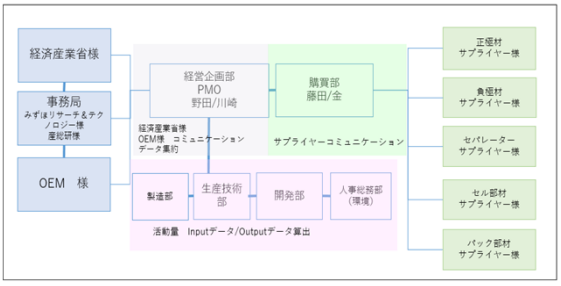

図３:スケジュール

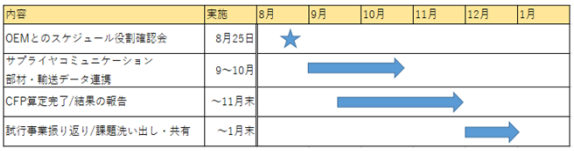
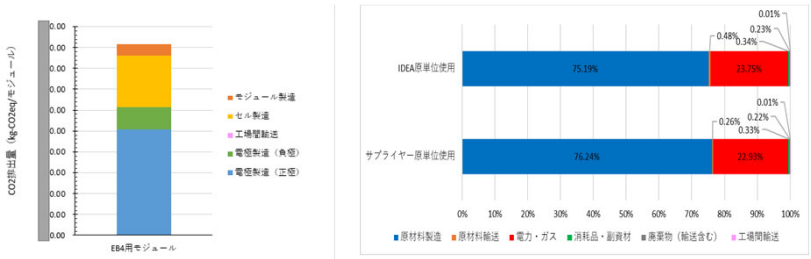
図4:算定結果